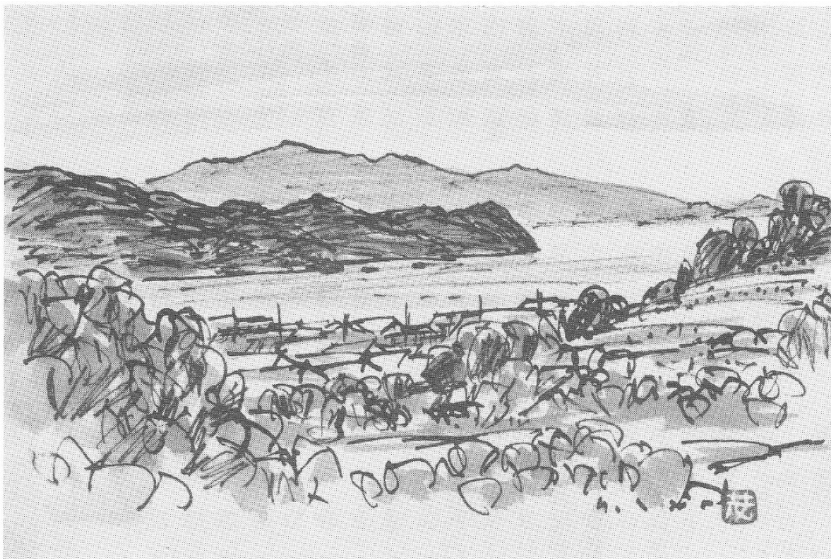


倉橋風景（倉橋町の丘より）

新制作協会協友 伊藤 茂弘氏



更生保護

ひろしま

号 外

平成元年度 (財)広島県保護観察協会特集

(会員芳名簿)

うだるような暑い日が続きますが、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、会員の皆様におかれましては、平素から当協会の更生保護事業に深甚なご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

私は、今大戦、陸軍軍医として、岡山県北の日本原演習場で兵役に服しておりましたが、終戦の前の年、十二月にわが部隊は沖縄救援部隊として派遣の命を受け家族への遺品を残しておくようにとのことでした。人生もこれで終りかなあ、と悲壮な決意をもって過ごしたなんと名状しがたい一週間の思い出は今でも忘れ得ません。

幸か不幸か、輸送船団壊滅のため沖縄への派遣は実行されずに九死の中に一生を得ることができましたが、生命を終焉を迎えようとした中で拾った命を善

意の一点としてお捧げし、少しなりとも世のお役に立てたいとの思いから、日夜更生保護事業にご苦労されている方々がお仕

ごあいさつ

(財)広島県保護観察協会

理事長 岡本 繁



事をしやすいようにと、当協会の仕事を手伝わせていただいているのものです。

当協会は、昭和三十九年に保

護司会および県内の優良民間企業十社を推進母体として募った基金をもとに更生保護事業を助成するための財団法人として発足いたしました。しかしその運営のための資金をまかなうのに基本金に対する利息のみでは充分でなく、これを補うための篤志者の方々に寄附金を仰いでまいりましたが、安定した助成事業を行う上でまだ支障を来しておりました。それで、皆様方に私どものこの事業の趣旨をご理解いただき、継続的にこの事業をお助けいただきたく、昨年六月に皆様方のご協力のもとに会員制度を新しく発足させました。お陰様で、一、〇一三名の会員がこの事業にご賛同下さり、貴重な浄財を当協会の事業にお寄せ下さいました。

ここに、平成元年度の決算と事業結果および平成二年度収支予算、事業計画についての報告をさせていただきますお礼を申し上げますとともに、今後とも一人でも多くの方々がこの更生保護の仕事の尊さをご理解いただき、善意と助け合いの気持ちで私どもの事業に参画下さいますようご支援ご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

保護司会

中地区

特別会員

賛助会員

栗原千里
門前 富代子
門前 豊己
大田 八洲
耕田 恵
耕田 文雄
真木 政雄
光山 高雄
土井 豊
臺井 澄男
西川 邦武
米田 枝
(株)むさし
(代)浮田 収
榎町内会長
榎町 健二
中野 彦三郎
基町 協
社会福祉協議会
三戸森 哲郎
普通会員
滝川 弥生
相原 省吾
吉村 昌峰
小林 茂人
近藤 興

大瀬戸 美智子
鈴木 信枝
神原 俣子
菅原 治馬
システムスガハラ
菅原 充彦
門前 富代子
門前 豊己
大田 八洲
大田 恵
大田 文雄
西野 洋子
岡本 菊子
岡本 行
安田 博
福田 賀
福原 司
田中 武朗
島田 司
田中 寛
加用 雅愛
池谷 正明
吉元 勝美
隠居 雄
池之 健
田村 市
加藤 健
今村 健
田中 数
下脇 涼
中元 幸
中川 深
森田 代

松尾 ふみよ
井町 重遠
水本 春夫
佐々木 英男
野村 知寿
山本 政幸
山本 和邦
岸本 ヒデ子
中本 忠子
(株)ジュポン
(株)化粧品本舗
保護司会第3班
岡山 ユリコ
(株)広島林産振興
木村 美代子
木原 宏
大東京火災保険
栗原 千隆
高島 隆
ボイスカウト
広島220B会
中島 弘
藤田電機工業
土井 澄子
柳田 澄子
賛助会員
東地区
荒瀬 乙一
京田 光昭

普通会員
神明 政三
福岡 由之
福岡 忠孝
田中 孝
高坂 絹子
楠光 治
登世 浩一
池田 武行
井家 健夫
由本 和夫
藤岡 ミツコ
竹本 博光
高屋 満
土肥 善彦
大倉 一郎
菅倉 雄三
重力 敬三
桑原 三男
和田 実敏
萩田 正義
竹田 千代子
相原 シゲコ
谷本 マサヨ
串本 弘
米須 ハツエ
周防 岳文
古谷 茂穂
三宅 好江
池本 龍登

松井 一政
岡西 澄雄
松島 文香
大杉 糸江
南地区
賛助会員
宇品西地区
福祉協議会
小早 苗
小林 恵美子
木村 恵美子
池田 正明
長谷 恵美子
石川 英一
松本 友江
楠本 次子
太田 勝就
国利 富士人
宮内 照幸
高木 邦正
浅枝 昌之
中井 誠
伊藤 利行
佐々木 悦子
森田 一斎
河崎 シツエ
水田 正
佐々木 良夫
原田 民夫

伊木 滋子
松本 正子
柴田 恒子
福島 賢治
森本 千恵子
奥迫 勝三
安井 敏幸
大石 義見
平松 スエノ
矢野 弘
石井 菜弘
倉本 蓬
柳川 五郎
岸本 義彦
竹下 創
桜井 造
松中 昭
広津 和子
今津 日佐恵
蛇迫 節子
池田 公明
浅倉 十三郎
池田 延
沼田 三奈
久米 一
向井 男子
永井 敏
南井 敏
桜井 健
松浦 敬寿

宮迫 芳江
浮谷 芳子
三谷 房子
生塩 太実子
下石 照生
為崎 博子
今村 義登
鷹尾 唯視
重森 摩耶子
伊居 孝美
土居 徹吉
吉田 哲男
中野 哲男
杉田 章
田丸 俊夫
大石 法夫
中本 展生
西地区
普通会員
堀江 洋治
野上 光章
山根 良男
山本 良子
山本 三郎
研谷 八
大三 務
大谷 貢
定森 昭
児玉 義昭
田中 ヨシエ

田島 米男
三川 悦二
武内 興
内藤 則
大田 美穂子
松宗 千枝子
河津 勉三
玉置 美代子
三宅 千代子
斎藤 秋三
寺崎 常夫
神崎 太郎
福原 新太郎
竹本 正義
栗原 柳一
田上 昭志
西浦 隆治
永田 子
中尾 四郎
名越 信
高橋 克己
猫谷 夫
山本 樹
山本 三郎
研谷 三郎
大三 務
大谷 貢
定森 昭
児玉 義昭
田中 ヨシエ

平成元年度

(財)広島県保護観察協会会員御芳名

順不同・敬称略

[illegible]

賛助会員	豊島睦	豊島幸恵	山本喬樹	石原孝之	木谷志つゑ	大西芳子	梶江春三	中津節子	中川辰美	大下静美	小西軍三	(株)ユーメックス	伊丹剛	佐伯町更生保護婦人会	大頭神社	松浦晟	竹久等	普通会員	田中朝幸	尾崎シヅエ	沼津久	竹内克博	河村博	岩村忠	森川修二	高野義昭	平本修久	野村明	河面好彦	亀尾敬二	片山シズエ	村田チエ子	竹内義徳	向井隆志
梶江富雄	杉田静男	前川勝三	大田佳宏	網谷豊	前田忠勝	橋本直勝	渡辺美喜登	倉光信一	白井磨	谷峰正宣	平山慧	岡村孝昭	植田芳雄	中部義男	寺岡典四郎	寺岡多加子	橋本博	八田信博	浅尾哲三	高都持正剛	古池静子	大前民生	小方忠夫	中本政登	大下征二郎	笠井道雄	吉田ハル	倉光誠一	岡新一郎	奥新四	安芸地区	賛助会員	古久保弘一	高津鋼材
(株)ヤマサン	西村清登	安芸ニチイ	安芸農業協同組合	工谷明	サンリブ府中店宮崎春雄	普通会員	加藤天	今田善博	山田雅彦	梶川忠男	後藤郁夫	宮坂和成	梶川通利	渋谷宏	渋谷禎造	伊藤艶子	斎木貞暁	東敏夫	池田数三	池田タツエ	谷光カヤコ	丹羽邦子	尾崎芳久	竹森鉄舟	福垣アヤコ	佛圓大源	中村周二	木本禮次郎	西谷みちえ	(株)西谷建工業	山崎工業所代表者山崎正紀	桑原頼綱	長松修三	
大山幸次郎	山脇繩行	葛山玲子	玉澤隆志	藤長昭雄	山脇操子	吉原久	山根温晴	東一壮	古田誠一	西田貴栄	柳ヶ丘第一町内会	岡田信男	松野千枝子	可愛川スミ子	柏木勝美	澤田勝彦	米田昭子	澤田平和	小川正明	高田地区	池田タツエ	谷光カヤコ	丹羽邦子	尾崎芳久	竹森鉄舟	福垣アヤコ	佛圓大源	中村周二	木本禮次郎	西谷みちえ	(株)西谷建工業	山崎工業所代表者山崎正紀	桑原頼綱	長松修三
神川八重子	井上幸子	大下喜久枝	富永淳子	山本貞恵	蓮沼真喜恵	浅田美代子	森原元子	中崎久美子	米重ヨシ子	森田博壮	三木武雄	大下治郎	井上智源	神川義幸	福間祐章	蓮沼剛	富島昭海	山本肇	佐々木順三	青山義俊	菊山肇	河野光人	恵川正	児玉信治	鳴床清吉	浅田正則	米重文雄	中崎大蔵	森原時之	東広島地区	賛助会員	加賀美敏子	福岡亨子	
クニヒロ商事(株)	(代)渡部俊司	下崎実	河部圭成	平野忠明	元浄寺仏教夫人会	(有)信和産業	普通会員	榎田郁子	黒瀬町保護司一同	代表満田尊磨	八本松保護司一同	代表元岡保夫	志和町保護司一同	代表湯川光晴	黒石鉄工(株)志和工場濱本充浩	前川祐三	伊関多美枝	石田盛之	道正大一	道正千鶴子	香川平俊	金常郁子	児玉二三子	天野幸江	末廣雪枝	置田文男	三田精太郎	高松充穂	松山繁春	横山昇司	坂井潔	澤田満明	広田正晟	檀山文武
中村政行	豊田地区	賛助会員	(株)勝谷組	(代)勝谷義輝	(有)橋本商店	(代)橋本浩司	ひやもと鉄工建設	榎谷本治	片山ラクエ	大澤次朗	平田一人	土田勇	芸陽信用金庫(本)	へんこつ苑	三幸食品工業(株)	三協化成(株)	安芸津工場	松田石油(株)	(株)本宮商會	重田酒造(株)	安芸津農産興業(株)	山下産業(株)	大洲建材(株)	大谷酸素(株)	普通会員	(株)中谷木工所	(代)中谷政司	山口武司	芦深地区	賛助会員	ユ一セイ建設(株)	(代)佐藤康成	桑田茂人	
備後ハウジング(有)	(代)土井惟克	信和プラスチック	(株)代延近申一	美の鶴酒造(株)	(代)徳永善彦	内田光二	三好勇	入江男一	普通会員	豊田良枝	井上博昭	山岡幸子	久保田譲	入江恵美	鶏内久悦	崎谷久仁司	目崎実也	甲奴地区	特別会員	赤木一郎	梶田昇一	双三地区	賛助会員	藤間市次	齊木時夫	普通会員	高岡賢三	花中忠男	大木明治	伊藤スミコ	新井石夫	末信博	小原数登	

[illegible]

平成2年度事業計画

(財)広島県保護観察協会

- 1 運営に関する事項
 - ① 当協会の寄附行為に定める目的に従い、更生保護事業の充実発展を図るため、更生保護会の指導連絡並びに助成を行うとともに保護司および保護司会活動の助成、協力団体の助成、関係機関団体との連絡、更生保護思想の普及宣伝および犯罪予防活動等を強力に行うものとする。
 - 2 更生保護会に対する連絡助成に関する事項

直接更生保護会の事業運営に関し、適時連絡助成会又は研修会を開催し、中国地方更生保護会連盟および全国更生保護会連盟等の主催する研修会等に参加し又は参加せしめるよう援助を行う。
 - 3 助成に関する事項

県下の更生保護会および広島県更生保護会連盟の運営を助成する。なお、同保護会が施設改善等、特別の支出を要する場合は必要経費の助成を行う。
 - 4 その他の事業
 - (1) 保護司活動助成

広島県保護司連合会の事業運営並びに地区保護司会の活動のための助成を行う。
 - (2) 協力運動助成
 - ① 広島県BBS連盟の事業運営のための助成を行う。
 - ② 広島県更生保護婦人連盟の事業運営のため協力を行う。
 - ③ その他関係機関に対し、必要な事業に対する助成を行う。
 - (3) 犯罪予防活動

犯罪予防活動としての「第40回社会を明るくする運動」の実施ならびに協力援助を行うとともに、更生保護思想の普及宣伝、犯罪予防活動のための各種会合の実施又は援助を行う。
 - (4) 調査研究

広島県下における更生保護事業の実態の調査、保護観察の方法技術の研究等を行う。
 - (5) 顕彰式典の参加援助

広島県更生保護関係者顕彰式典に参加協力援助を行う。
 - (6) 表彰の援助

保護司および民間協力者が表彰された場合、これに記念品を贈る等表彰の援助を行う。
 - (7) 雇用主等の損害見舞金の支給

保護観察中の者および保護観察を受けたことのある者等が、雇用主またはこれに準ずる人に損害を与えた場合に応分の見舞い金を贈る。
 - (8) 補導援助

法により援助保護のできない者に対し、金品の給貸与をして、その者の更生を援助する。
 - (9) 関係機関団体等との連絡

裁判所をはじめ関係機関団体との連絡協議会の開催に協力して援助を行う。

平成元年度収支決算書及び平成2年度収支予算書

(財)広島県保護観察協会

(収入の部)

項 目	平成元年度決算額	平成2年度予算額	項 目	平成元年度決算額	平成2年度予算額
補 助 金	0	0	財 産 収 入	2,123,068	2,100,000
寄 附 金	8,416,320	7,200,000	利 息 及 び 配 当	2,123,068	2,100,000
共同募金配分金	0	0	賃 貸 料	0	0
篤志者寄附金	7,868,000	7,000,000	特別会計繰入金	0	0
役員等寄附金	0	100,000	雑 収 入	0	0
その他の寄附金	548,000	100,000	物 品 処 分 収 入	0	0
助 成 金	5,510,000	350,000	物 品 自 給 高	0	0
会 費	5,025,000	3,500,000	その他の雑収入	0	0
			計	21,074,388	13,150,000

(支出の部)

項 目	平成元年度決算額	平成2年度予算額	項 目	平成元年度決算額	平成2年度予算額
経 営 管 理 費	634,838	545,000	連 絡 助 成 事 業 費	1,880,000	1,630,000
会 議 費	228,644	150,000	更生保護会助成費	1,750,000	1,500,000
公 租 公 課	0	5,000	保護会連盟助成費	100,000	100,000
分 担 金	312,000	320,000	指 導 連 絡 費	30,000	30,000
交 際 費	87,498	50,000	保護司活動助成費	7,760,293	5,000,000
支 払 利 息	0	0	地区保護司会助成費	5,616,500	2,500,000
雑 費	6,696	20,000	保護司連盟助成費	1,550,000	1,700,000
施 設 費	0	0	指 導 連 絡 費	593,000	800,000
賃 借 料	0	0	協力運動助成費	2,475,000	1,980,000
施設補修費	0	0	B B S 助 成 費	105,000	100,000
火災保険料	0	0	更生保護婦人会助成費	995,000	850,000
減価償却費	0	0	その他の助成費	1,375,000	1,000,000
事 務 費	2,209,553	1,852,320	指 導 連 絡 費	0	30,000
俸給・諸手当	1,169,000	1,169,000	機関紙(誌)発行費	300,000	60,000
退職給与	0	0	大 会 費	400,000	0
雑 給 与	90,000	120,000	報 償 費	429,657	550,000
職員厚生費	20,316	35,000	世 論 啓 発 費	144,552	300,000
印刷製本費	151,410	200,000	調 査 研 究 費	32,000	50,000
備 品 費	460,966	10,000	更 生 援 助 金	204,995	200,000
備品補修費	1,030	60,000	被害見舞補助金	20,000	20,000
消耗品費	88,928	40,000	地域活動推進費	230,680	230,000
水道光熱費	0	0	処 遇 活 動 費	120,000	120,000
通信運搬費	107,933	100,000	少年非行防止活動援助金	515,000	0
旅 費	91,650	90,000	予 備 費	0	612,680
雑 費	28,320	28,320	当 期 剩 余 金	3,717,820	
			合 計	21,074,388	13,150,000

平成元年度事業成績書

(財)広島県保護観察協会

1 更生保護事業に対する助成

(1) 更生保護会に対する助成

更生保護会の名称	助成理由	助成金額
財団法人 博光寮	事業運営費助成	750,000
財団法人 呉清明園	〃	1,000,000
広島県更生保護会連盟	〃	100,000
合 計		1,850,000

(2) その他の助成

助 成 先	助 成 理 由	助 成 金 額
広島県保護司連合会	事業運営費助成	1,550,000
地区保護司会	〃	6,681,500
広島県 B B S 連盟	〃	105,000
広島県更生保護婦人連盟	〃	70,000
地区更生保護婦人会	〃	919,500
更生保護施行40周年記念広島県更生保護大会	開催経費助成	400,000
更生保護ひろしま40年誌作成編集	編集作成費助成	300,000
合 計		10,026,000

(3) 更生保護事業に対する指導連絡

項 目	実 施 月 日	金 額
地区保護司代表者会議	5/22, 11/17, 3/13, 14	111,386
新任保護司研修	9/7, 2/2	43,095
保護司第1, 2次研修	9/13, 10/13	81,495
犯罪予防部, 総務部, 特殊事務(駐在) 特別(面接)保護司研修	6/15, 7/20, 21, 12/20, 21 2/19, 20	158,817
呉, 福山, 尾道, 三次地区関係機関連絡協議会	9/6, 9/22, 9/27, 11/27	80,000
少年関係五庁連絡協議会	6/20, 12/4	45,000
あけぼの会	12/1	24,000
関係機関懇談会	5/9	50,000
広島県更生保護会連盟役職員研究会	6/19, 9/26, 12/14, 3/23	30,000
合 計		623,793

2 「更生保護事業の指導連絡または助成」以外の事業

(1) 世 論 啓 発

項 目	実 施 月 日	金 額
「第39回社会を明るくする運動」に対する協力援助, 二葉会(11社)に対する更生保護誌代	7/1~7/31 2/9	144,522

(2) 調 査 研 究

項 目	調 査 研 究 の 内 容	実 施 月 日	金 額
保護観察事件の動向および更生保護会の指導について	管内更生保護の概況の印刷費		32,000

(3) 雇用主損害見舞金等支給状況

項 目	件 数	金 額	備 考
サンコー建設, その他	2	20,000	

(4) その他の事業

項 目	内 容	金 額	備 考
更 生 援 助	交通, 薬物濫用対象者短期集団処遇活動費 恩赦対象者に対する記念品購入費	204,995	
表 彰, 協 力	法務大臣, 保護観察所長受表彰者に対する記念品購入費	429,657	
処 遇 活 動	関係機関, 団体連絡協議会経費	120,000	
地 域 活 動 推 進	処遇, 保護司会指導, 協力組織推進指導, 地域活動経費	230,000	
少年非行防止活動援助	活動費	515,000	

[illegible]

幸せな人々は
一様に幸せであるが
不幸せな人々は
さまざまに不幸せである

保護観察になって私どものところを訪れてくる少年たちと会っていると、世の中にはこれほどまでに不幸があつたかと驚かされ、トルストイの「アンナカレリーナ」のこの冒頭の句を想い起こさせられます。

たとえばA少年ですが、彼は刑務所の中で生まれました。母が売春中に彼を身籠もり、服役することになったからです。父も知りません。出産と同時に母の手もとから取り上げられ、本人も施設に預けられます。少年が生まれて初めて母に会ったのは十八才のとき、センサーショナルな性犯罪事件を起こし、少年鑑別所に収容されたときでした。しかし、ゆるしてちょうだい」と泣き崩れる母を見下ろす少年の目はうつろでその顔には喜びも悲しみもなく、無表情ということばを絵に描いたような顔でした。

保護観察という仕事は、不幸にして非行に陥った子供たちや、罪を犯した人たちが立ち直れるように、地

域社会の手をかりながら援助して行く仕事ですが、様々な過去を持ち、心に深い痛みを負った人たちの心を開かせ、社会に立ち返らせて行くのは、なかなか辛抱でできることではなく、「善人なおもて往生す、まして悪人をや」といった深い思いなしにはやって行けない仕事です。

広島県下で現在、一、二〇〇名余の保護司の方々がこういった困難な仕事に、それも無給で日夜骨を折っておられます。

犯罪者を立ち直らせるという刑事政策の仕事は、基本的には法務省という国の機関の責任において行う仕事ですが、この更生保護という仕事はもともと「こういう人たちを放っておけない」「力をかけてあげたい」という一般国民の声の中から生まれた制度です。いくら立派な設備を整えたところで、塀の中にいれておくだけでは、最終的にその人たちが帰っていく地域社会の人々の暖かい理解と協力なしには犯罪者は立ち直るものではありません。

このことをご理解いただき、一人でも多くの方々が私たちのこの更生保護事業にご参加下さり、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（文責 広島保護観察所 垣花）

広島東洋カープ元監督

阿南準郎氏が協会会員に

広島東洋カープ元監督（現球団取締役）の阿南準郎氏が平成二年度から協会会員として加入して下さいました。

氏は本年七月三日に第40回

“社会を明るくする運動”

の記念行事として行った

「一日保護觀」

「監察所長」に就任下さり、プ

口野球という
厳しい世界の

中にもありなが
らも二軍監督

として長年選
手たちを育て

てこられた中
から滲みでた

氏の暖かいお人柄が大変に

好評を博し、
の各テレビ局

り、昼夜にわ
さいました。

こうした御縁に、氏が監督を



方々のお手伝いをさせて頂きたいとの有り難い申出があり、平成二年八月十日に加入をいただきました。

氏のような
プロ野球界の
トップを極め
られた方が縁
の下の力持ち
のような私た
ちの事業をご
理解いただい
たことを大き
な励みとして、今後この会員制
度にすこしでも多くの方々のご
協力を得られるよう関係者一同
頑張つて参りたいと思います。

財)広島県保護観察協会とは

当協会は、県下における更生保護活動の助長を目的とし、法務大臣の認可を受けて活動している民間の団体です。

更生保護とは大きく分けて次の二つの柱からなっています。

- 1 不幸にして非行に走った少年や罪を犯した人たちを人間として尊重し、地域の人々の理解と協力により、善良な社会の一員として自立できるよう援助すること。
- 2 犯罪を予防するため世論の啓発に努め、地域社会の浄化を図ることを目的とした犯罪予防活動。

更生保護は、刑事政策の一貫として国の責任において遂行されるものですが、国の機関の活動だけでは、十分にその成果をあげることができません。ぜひとも社会の人々の協力が必要です。

◆更生保護事業の諸活動

この更生保護事業が発展するため、地域ではつぎのような活動が行われています。

——保護司活動——

民間の篤志家の中から法務大臣により委嘱された保護司が県下に配置されており、社会奉仕の精神をもって、不幸にして非行に走った少年や罪を犯した人たちの社会復帰のため、日夜その指導等に努力しています。



——更生保護会——

法務大臣の認可を受けて更生保護の仕事を行っている民間の団体です。更生保護会は、保護観察中の人や刑務所を満期出所した人などを宿泊させ、その職員は、これらの人たちと寝食をともにし、社会復帰を助けるため、たゆまぬ努力を続けています。

広島県下には、広島市内に財)博光寮、呉市内に財)呉清明園の二つの更生保護会があり、その苦労には大変なものがあります。

——更生保護婦人会——

更生保護婦人会は、婦人の立場から地域の犯罪予防活動と非行に走った少年や罪を犯した人たちの更生に協力し、犯罪のない明るい社会の実現に努力している婦人の民間団体です。広島県内には約二、六〇〇名の会員が活動しています。



——BBS活動——

BBS運動は、非行に走った少年のよいともだちとなり、その立ち直りを助けようとする青年男女の運動であり、広島県内においては約一五〇名の会員が活動しています。



——“社会を明るくする運動”——

特に広く国民の協力を得るため、法務省主唱による“社会を明るくする運動”が毎年七月の一个月間全国各地で展開されています。

ご支援のお願い

当協会は、これらの活動が、更に充実強化されるため、皆様からいただいた浄財を最も有効適切に活用させていただくことを使命としています。犯罪や非行のない明るい社会を築くために何卒、当協会へご理解をいただき、皆様方のご支援ご協力を賜りたく、つぎの会員のいずれかにご加入下さいますようお願い申し上げます。

- 普通会員 (年間拠出金 三千円以上)
- 賛助会員 (年間拠出金 一万円以上)
- 特別会員 (年間拠出金 一〇万円以上)
- 名誉会員 (本会に対し特に功労があった方)

なお、賛助会員としてご加入いただいた方には広島保護観察所長感謝状を、また特別会員としてご加入いただいた方には法務大臣感謝状をもってお礼をさせていただきます。

お申込みは、当協会または保護司、更生保護婦人会に直接訪問もしくはお電話をいただくか、入会申込書に拠出金を添えて郵送または振り込み(振込先…郵便為替広島9116378財団法人広島県保護観察協会)にてお願い申し上げます。

更生保護ひろしま
号 外
昭和27年8月 創刊
毎月1回 発行
定価 30円
編集 広島保護観察所
調査連絡課
発行 広島市中区上八丁堀2-15
広島県保護司連合会
電話 (082)221-4495
会員の方は会費に本紙購読料30円
(1部)も含まれています。